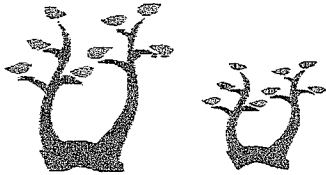


「鵠沼の緑と景観を守る会」機関紙

鵠沼の緑

11月例会・報告



発行 藤沢市鵠沼地区「鵠沼の緑と景観を守る会」

(略称:みどりの会)

事務局 代表 北村裕彦(携帯090-9836-5157)

11月例会および懇談会報告

11月例会は11月20日(日)15時から鵠沼公民館で行われました。出席者15名、司会古山幹事、書記佐藤幹事。午前中の「高木ふれあい荘」の清掃には5名が参加しました。

11月例会報告

1 第35回公民館まつり 10月29日(土)~30日(日)

みどりの会は今年も参加し各種の展示を行いました。今年の特徴としましては、鵠沼地区の地図を拡大して掲示し、各ポイントの風景写真20枚をその横に貼り、来場者にお気に入りの1枚を投票してもらったことです。また、鵠沼地区の花や風景写真を絵ハガキにして販売(1枚50円・3枚100円)したところ、用意した枚数が1日目で売り切れ、急いで2日分を追加したことです。子どもたちの絵(62枚)も好評でした。

詳細は例会後の懇談会で報告されました。

2 村川邸百歳見学会+シンポジウム

11月3日・5日・6日の3日間にわたって開かれました。当会からは十代田さんが3日に、戸井田さんが5日の東京都文化財ウィーク見学会に参加しました。印象としては、企画全体が洗練されており、さすが村川さんだなあと感心したということでした。なお、パンフレットの中に、鵠沼松が岡公園の写真が掲載されており、その中で当会員が中学生に公園の由来を説明している場面があり、何ともほほえましい風景でした。

3 湘南ふじさわ歴史文化めぐり

湘南藤沢文化ネットワーク主催の第4回まち歩きが11月19日(土)、大雨の中で行われました。9時45分辻堂駅集合後出発。コースは明治郷土資料室—田村邸—小笠原東陽墓—耕余塾—旧三鶯邸—辻堂駅。大雨にもかかわらず34名(定員20名)が参加。県内並びに、東京・埼玉・千葉からの参加がありました。当会からは5名が参加しました。

4 鵠沼みどりの会親子ウォーキング

予定通り、11月23日(水・祝)に実施されます。

当会の中島幹事がコースを企画。北村代表が賀来神社の由来などを説明する予定。参加者は今のところ43名です。

5 その他

○藤沢市市民活動推進センター開館10周年記念 講演とパネルセッションの集い

日時： 12月23日（金・祝） 13時～

場所： 講演 市民会館小ホール
パネルセッション 第二展示集会ホール

講師 山岡義典氏（日本NPOセンター理事）小山明子氏（女優）
金子郁容氏（慶応大教授）海老根藤沢市長 が予定されています。

なお、パネルセッション（各団体の活動内容を紹介する展示物の掲示）に当会が参加するかどうか幹事会で検討します。

○千島桜その後の経過

千島桜の苗木が北海道根室市から贈られることにつきましては、以前お知らせしましたが、今回、具体的に進めるために、当会員の八幡さんが根室に赴くことになりました。

日程は12月19日から21日。八幡さんのほかに、鶴沼市民センター長、育桜会の松前氏も同行します。贈呈される苗木は3本。問題は植苗した後の養生で、成育すると低木ながらかなりの底地面を要するそうです。千島桜は北海道では開花宣言（市民レベル）北限標準木になっています。

○三野会員（市議）の議会報告

百条委員会につきましては来年1月に中間見解報告があるそうです。

防災センターの建設で候補になっていた旧江の島水族館跡地は白紙になったそうです。

防災に関する要望書は12月例会までに当みどりの会・鶴沼景観まちづくり会と協議して提出する予定です。



懇談会



例会後、引き続き懇談会に入り、公民館まつりの報告を中心に話し合いました。

① 鶴沼地区地図と景観写真（20枚）の掲示

今回は地図をたたみ1畳分くらいに拡大して掲示したり、風景写真をその横に貼って、来場者のみなさんにお気に入りの1枚を指摘（投票）してもらったのが好評でした。投票には2日間で57名が応じて下さり、20枚の写真以外の場所を指摘してくれた方が8名いました。

投票で多かった風景のうち、1位から3位までをお知らせします。（次頁に写真掲載）

1位・・・竹垣や風情のある門

2位・・・松と玉石垣

ダイヤモンド富士

3位・・・下藤が谷公園（境川）

夕日に向かうサーファー

なお、その他ご指摘いただいた風景は江ノ電が走っている風景・江ノ電沿いにある奥山動物病院周辺・カワセミがいる風景・引地川水道橋に止まっているカモメ。サーファー・藤の花・河津桜などもありました。

② 子どもの絵 今回もしっかりと鶴沼の風景が描かれており、来場者の目を楽しませてくれました。

③ 松の苗木配布

今回も30本配布しました。会員の方から松の苗木配布だけでなく、鵜沼海岸一帯に松並木をつくる運動をしたらどうかとの提案がありました。当会の運動方針として検討に値するご意見です。

④ みどりの相談コーナー

30日(日)一日だけのため相談件数は4件でした。相談の主なものは鉢植え野草の育て方、植え替え方法や樹木の接ぎ木の方法、その台木に何をういたらよいかなど。

昨年質問の方が今年もという方が何人かいらっしゃいました。

公民館まつりに行って、みどりの相談をする。定着するといいですね。

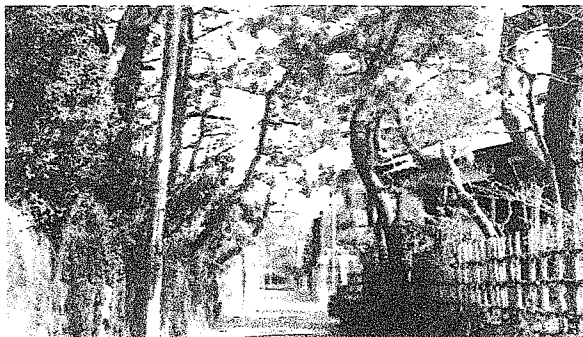
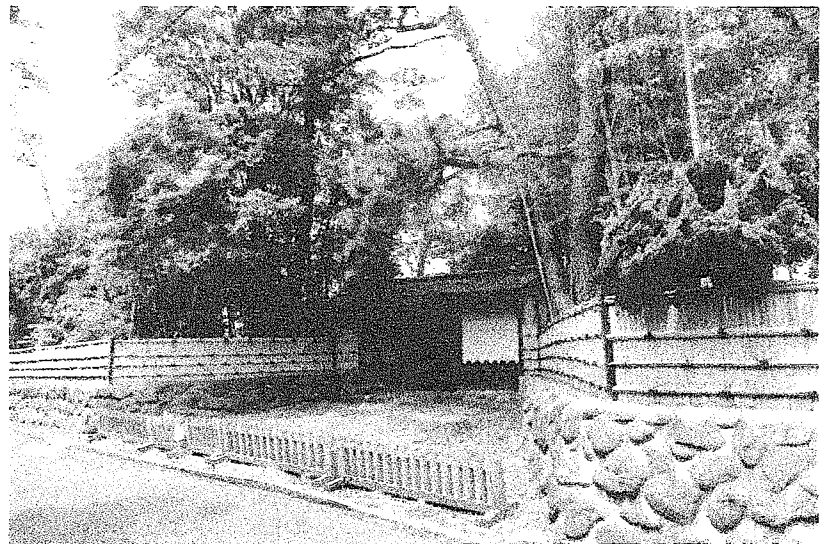
相談員は廣田さん(当会幹事・長久保公園みどりの相談員)

- ⑤ 前述の鵜沼地区の拡大地図に住民協定が成立した地区(ニコニコ自治会・五友会)掲示して欲しいという意見があり、来年度、検討することにしました。

あなたの好きな風景は？

1位から3位の風景写真

竹垣や風情のある門



松と玉石垣



ダイヤモンド富士



下藤が谷公園(境川)



夕日に向かうサーファー

「鵜沼を語る会」の10月の例会で、小林政夫先生の「巨木の話」を聞いた。

鵜沼には多くの種類の樹木があるが、幹回り1m以上の太さの樹木では黒松(204本)とケヤキ(114本)と圧倒的に多かった。分布としては黒松は松が岡、桜が岡。ケヤキは本鵜沼、神明が多い。昔、鵜沼では海岸の砂地の分譲価格はいたって低廉であったが、松を植えるという条件が付いたという。松の特性として、砂地のように土壌の中のチッソが少しでも育つという。つまり海岸地帯では初め松が入り込み、下草が増えて腐葉土になると、次に樹木が侵入して森を作っていくのである。そして、落葉の副産物としてキノコ類のめくみにあづかることになる。今年9月の台風は最近に近く強く、樹木の葉が茶色になったものが目立った。その中でさすがに松の緑はピクともしなかった。先人が砂地への松の植樹を重視したことが改めて実感させられた。

また先生は辻堂東海岸の「木又地蔵」の話をされた。明治の初め、辻堂の農夫・落合又五郎さんが、実生の松を探しては東海岸一帯に植えていた。これが嵐や強風で一夜のうちに駄目になったが諦めず何度も繰り返した。本業の畑も漁も放り出し、頭がおかしくなると笑われても松を植え続けたという。この遺徳を讃えて建てられたのが「木又地蔵」である。私はこの地蔵の前を昔から通り過ぎていたが、このような由来があることは知らなかった。土地を豊かにするため、このような先人がいたことを皆様にお知らせする次第です (A会員)



宮脇昭著「瓦礫を活かす『森の防波堤』が命を守る」



～宮脇さん(植物生態学者)は、これまで40年間に国内外で4000万本の植樹をしてきた方です～
「木を植えるとは、心に木を植えることであり、命を植えること、そして明日を植えること」を信条にして、今後も木を植え続けたいと言っています。宮脇さんはこの著作で東北の太平洋岸約300キロに「森の長城」を築こうと堤唱しています。そして、「森の長城」が「緑の壁」となって津波を破碎しエネルギーを減殺します。その間、住民が避難する時間ができます。また瓦礫については、再利用可能なものを除き、それを捨てたり焼いたりしないで、その場に埋めてその上に森を築くことは犠牲者への「鎮魂の丘」となり、未来に向けての「希望の森」になる。

♡ 12月日程のお知らせ ♡

編集会議	12月7日(水) 15:00～
広報印刷	12月9日(金) 15:00～
例会	12月18日(日) 15:00～
学習会	
	「斉藤会員(県議)活動報告」
高木ふれあい荘清掃	12月18日(日) 9:30～
〇邸清掃	12月17日(土) 9:30～
幹事会	12月24日(土) 10:00～

☆編集係より☆
公民館まつりで絵はがきを販売したところ、思いのほか好評でした。一枚、一枚に鵜沼の花めぐり、鵜沼の海、鵜沼のみどりと書き、その下に場所や花の名前を添えたのが良かったのではと来場者の声がありました。来年は、江ノ電が走っている風景、カワセミやカモメといった鳥も追加してほしいとのリクエストがありました。うれしいですね！